

# 令和4年度 第4回滝沢市環境審議会 会議録

開催日時	令和5年1月26日（木）9時55分から12時まで			
開催場所	滝沢市役所2階 201会議室			
環境審議会委員	職名	氏名	出席	欠席
	会長	豊島 正幸	出席	
	副会長	百目木 忠志	出席	
	委員	工藤 恒夫		欠席
	委員	下河原 一眞	出席	
	委員	中島 清隆	出席	
	委員	民部田 健一		欠席
	委員	渡邊 美香子	出席	
	委員	高橋 弘美	出席	
	委員	皆川 千里		欠席
		9人	6人	3人
事務局	市民環境部 市民環境部環境課	部長 久保 正秋 課長 田沼 政司 総括主査 武田 憲昭 主査 吉田 拓矢		
傍聴者の有無	なし			
会議記録の方法	詳細記録			
議事	第1号議案（報告案件）・第一次滝沢市環境基本計画素案について			
内容	<b>9時55分、定刻前だが、出席者全員そろったため開始</b>			
久保部長	久保市民環境部長より挨拶			
豊島委員（会長）	豊島委員（会長）より挨拶			
事務局・田沼	さて、滝沢市環境審議会規則第4条第1項の規定では、「会長は、必要に応じて審議会の会議を招集し、会議の議長となる」とされておりますので、ここからの議事進行は、豊島正幸会長に会議の議長をお願いしたいと思います。			
豊島委員（会長）以降、豊島会長と表記	それでは早速議事、第1号議案、第一次滝沢市環境基本計画素案について経過報告・ご意見をいただきます。まず、お手元には資料 ver.1.85 というものが配布されています。でも私たちに事前配布された資料は、ver.1.75 であります。そこで、事務局からはこの ver.1.75 をベースにした改良点の説明と、更にその後、ver.1.85 の改良・改正点のご説明をいただきたいと思います。			
事務局・田沼	環境基本計画は、ひとつひとつ積み重ねる形ですね、ここまでたどり着いたというのが正直なところです。ver.1.75 についてはお送りしたものですけれども、今回 ver.1.85 もお配りしています。			

	<p>ver. 1.85 については、昨年以降ですね、1月17日のたきざわ環境パートナー会議進行管理委員会で頂戴した意見を反映させたものでございます。修正作業が間に合いましたので今回お配り致しました。</p> <p>詳しい内容については、担当からご説明いたします。</p>
<p>事務局・武田</p>	<p>それではよろしく申し上げます。年度末（年末）にお送りしました ver. 1.75、それから本日お配りしました ver. 1.85 と二つ資料があります。いっぱい資料配りまして大変恐縮ですが…また ver. 1.75 の変更点と ver. 1.85 の変更点、それぞれ説明せよとのご指示頂戴しましたので、駄足といえますか、かなり急いで乱暴な説明になると思います。大変皆様には失礼な対応となるかと思いますが、議論の時間を確保したいというのが事務局の本音でございますので、そこはご容赦いただきたいと思っております。いずれ、バーっと走りながらご説明いたします。ご容赦ください。よろしく申し上げます。</p> <p>○素案 ver. 1.75 の変更点説明内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次部分色違い部分の修正説明</li> <li>・P 9 計画の校正→構成図は前々回の進行管理委員会での指摘通りこのように変更したが、ver. 1.85 で更に変わる旨、説明。</li> <li>・P 13 計画の施策し指標について→文書内朱書き部分の修正。</li> <li>・P 14 環境の将来像について→前回審議会、1/17の進行管理委員会にて「上段の文書が不適切である。市の思いや取組姿勢を表現し、書きなおすべき」との指摘。ver. 1.85 のとおり直します。また、下図について、前回審議会での議論の結果、A～C案としたが、ver. 1.85 と合わせて説明しないと意味がないので後回しにする。</li> <li>・P 15 上段の「環境の将来像」について、上段P 14の結果次第で変更されるもの。全部「取る」ことも考える。「環境分野別施策」の表示順番について「自然と共生するまち」「気候変動に対応するまち」の順番を入れ替えるべきである。「やはり気候変動対策が一丁目一番地」であると強い意見を頂戴している。この意見を入れた場合、後述の体系図や分野別施策記述部分の順番入替も行う→ver. 1.85 にて対応</li> <li>・P 28～29 重点施策について、もっと見える化すべきとの意見があった。星印を付けることでお示ししている。</li> <li>・P 31 生物多様性の保全 「希少生物だけが生物多様性ではない」との意見をうけた→ver. 1.85 にて対応。</li> <li>・P 43 温室効果ガス削減目標について、ver. 1.75 では46%削減といった形で整理中→ver. 1.85 にて変更説明。</li> </ul>

- ・ P 4 7 取組の方向性 9) 脱炭素型まちづくりの推進 ⑨を追加等々説明。

○素案 ver. 1. 85 の変更点説明内容

- ・ P 2 計画策定の背景、1 / 1 7 の進行管理委員会で指摘。「昆明・モントリオール生物多様性枠組の採択」文を挿入。関連して他文を削除。

- ・ P 3 上段文書一部削除。

- ・ P 4 計画の対象範囲 計画対象分野の「安心・安全な生活環境」→「快適な生活環境」へ変更。「安心・安全」という言葉は、総論扱い。各論として「快適な～」を入れることとした。

- ・ P 4 下図 「気候変動が一丁目一番地」、よって計画内の表記を変えるべき→「気候変動」「自然共生」「資源循環」「快適な生活環境」「環境活動」の順とする。よって後述される分野別施策の表記順も同様とする。

- ・ P 6 ～ 7 上段文書の一部を入替え

- ・ P 8 一番上の「年齢階級別人口割合の推移」→「年齢階級別人口割合の推計」へ

- ・ P 9 計画の構成→各章の間にある▼矢印はいらぬ。また取ったら全体的に詰まって図のバランスが悪い→修正

- ・ P 1 2 一番下段文 指標の設定→朱書きのとおり訂正

- ・ P 1 3 朱書き部分「中間年度と目標年度に」に修正

- ・ P 1 4 ver. 1. 75 で掲載されていた同ページの文章について、「あまりにもマッチしていない」とのご指摘を受け、事務局にて作成しなおした文案。お読みいただいでご意見賜りたい。

同 P 下段、表記のとおり修正している。後ほど議論願いたい。

- ・ P 1 5 上段にあった「環境の将来像」は、P 1 4 の動向により変更されるもの。ver. 1. 75 では表記されている。ver. 1. 85 では削除状態。審議会の意見次第でどちらにも転ぶもの。また、環境分野別施策図表の「気候変動に対応するまち」「自然と共生するまち」を入替えている点の確認。またこれによる以降本編の記載順番確認。

- ・ P 1 8 一番上、分野横断的施策 1 「気候変動に適応」→「気候変動に対応」へ。同最下段、総合的指標、朱書きのとおり訂正。

- ・ P 2 1 下段、総合的指標 朱書きのとおり訂正

- ・ P 2 2 中段の「施策」内、「COOL CHOICE」→「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」へ。他、朱書き部分訂正へ。

- ・ P 2 4 下段、総合指標、朱書き部分の数値入力

- ・ P 2 5 上段～中段の「施策」内、「COOL CHOICE」→「脱炭素に

つながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」へ。 他、朱書き部分訂正へ。

・ P 3 3 上段、温室効果ガス削減目標、ver. 1.75 では 46% だったが、ver. 1.85 では、森林吸収利用 11% を意識して 57% 表記とした。 下段のグラフ等について、46% での作成であるため、パプコメ版作成までに、グラフ調整を行う。

・ P 3 5 下段 指標数値入力。

・ P 3 6 上段 「家庭・事業者の」の部分を削除

・ P 3 7 取組の方向性 3 ⑦について、「今後、公共施設も ZEB 化推進を宣言すべき」との意見を入れ、「公共施設、」という言葉を入れたもの。

・ P 3 8 上から 3 つめの丸印→「設置が可能であれば」を削除

・ P 4 3 上段、施策の方向性内、「ある程度」→「かなり」へ  
進行管理指標 朱書きのとおり入力

・ P 4 7 下段、進行管理指標については、朱書きのとおり数値入力。

上段、「施策の方向性」内文書、現状のままでは希少種だけが生物多様性と取られかねない。もっと広い意味での表記に変更すべき→ver. 1.85 のとおり変更。

・ P 4 8 「取組の方向性 6)」の題、「動植物の生息・生育環境の保全」を削除

・ P 4 9 進行管理委員会では、「オオハンゴンソウ」「アレチウリ」だけではない。「ウシガエル」「オオキンケイギク」「ブラックバス」もだ…というご意見だか…、市内での明確な確認情報がとれていない。 よって今回は提案分の 3 つは記述しない。

・ P 5 0 後日（パプコメまでに）、指標入力予定。

・ P 5 3 中段、進行管理指標への数値入力

・ P 5 4 取組の方向性 10) へ⑧農林産物の地産地消の推進を追加

・ P 5 5 上段「市民の取組」へ「地元産農林産物の地産地消に協力します」を追加

・ P 5 6 「サーキュラーエコノミー」を追加

・ P 5 7 進行管理指標、朱書どおり入力

・ P 6 0 進行管理指標について調査中（パプコメまでに入力）。

・ P 6 1 最下段に朱書き文書追加

・ P 6 3 大腸菌群数→大腸菌数

下段、進行管理指標へ朱書き指標入力

・ P 6 5 下段、進行管理指標、朱書きのとおり入力

・ P 7 1 下段、進行管理指標、朱書きのとおり入力

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 7 4 庁内環境調整会議→滝沢市環境基本計画推進プロジェクトチームへ変更</li> <li>・ P 7 6～7 8 各ページにて説明のとおり。</li> <li>・ P 8 9 日程等の確認</li> <li>・ P 9 0 審議委員の皆さんの職名等の確認</li> </ul> <p>ver. 1. 75、ver. 1. 85 についての説明は以上。</p> <p>なお、あとで議論になった時でいいと思いますが、P 1 4 の「環境の将来像」について、本日欠席の民部田委員、工藤委員からご意見頂戴しております。後でタイミングを見ながらお話をさせていただきます。</p> <p>以上です。</p>
豊島会長	<p>はい、ありがとうございました。まずこの手の基本計画は、どうしてもこの程度の厚さには、ならざるを得ないのであります。ただ、一番最初に目にしたのは、「今回の基本計画はどこに書いてあるの？」と探して、後ろのほうに見つけるという、そういう状態でした。しかし、この度しっかりと前のほうに、「見ればすぐ出てくる」といった形になりました。ここが一番大事なところかなと思います。見やすくなった。更に見えやすさは、いろんなところに工夫がされてきました。</p> <p>その工夫が凝縮したのが新しいバージョンで言いますと、P 1 4～1 5、に凝縮されていると思います。つまり、「環境の将来像」というのをどう定めるか、というところでこれまでもいろいろご意見を頂戴しました。特に前回のご意見の中で P 1 5 環境分野別施策の上から 4 つ目、「快適な生活環境のまち」という部分、前のバージョンでは「安全・安心な生活環境のまち」という表現になっていたんです。ところが、個別の施策を見ていくと、えっ？これだけなの？それだったら安全安心の言葉は不具合だ（そぐわない）。「安全・安心」ってもっと大きな意味を含むものだから、この言葉はもっと上のほうに、つまり将来像のほうで使用すべきという、久保部長さんからの案があり、私はそれで「バッ」と開けたような気がいたしました。</p> <p>これまでも基本計画の重点施策、滝沢らしきこそ（環境の）将来像に<b>描かれる</b>べきものとして検討してきた訳ですが、言葉がなかなか見当たらない状態でした。私自身。そこに「安全・安心」という言葉を持っていくことによって、「収まりがつく」といった感じです。つまり、私たちが今まで「安全・安心」という言葉、普通に使っていますが、よく考えるとこれはとても深い言葉、いろんな意味</p>

	<p>を包含した大きな意味合いをもった言葉なんだなあと思います。</p> <p>これを将来像に持ってきて、その下に各論が来る。</p> <p>更に時代の流れとして逆らい難い「脱炭素」の流れです。日本政府目標も実質排出量0まで掲げている大きな流れに目を背けている訳にはいかない。それでこの度の基本計画は、「安全・安心なまちづくり」を進めていくうえで、今回の計画では脱炭素に焦点をあててやっていくという、いわば「副題」的な意味で下に「脱炭素」とかいう言葉を付ければいいんじゃないかなと思うのです。</p> <p>更に言えば、これは今後の議論によりますけれど、「安全・安心」とは、それだけ大きな言葉ですので、そのまま生かして、副題のほうをマイナーチェンジしていけばいいのかなと思います。</p> <p>大分私の私見が含まれておりますが、そのように考えた次第です。これを踏み台にしてご意見を頂戴出来ればと思います。</p> <p>そこでP 14～15にまずは焦点をあてて議論できればと思います。その前に言葉として「安全・安心」と「安心・安全」があるようです。今回は「安心・安全」で統一しているようですが、どういう意味合いの違いを念頭におかれていますか？「安全・安心」と「安心・安全」は意味合いが違いますか？</p>
中島委員	P 14～15でも、「安心・安全」の順番が違っているので、順番はそろえたほうが良いと思います。
豊島会長	新しいバージョンでは、ほとんど「安心・安全」に…
事務局・武田	ただ、P 15の分野横断1は「安全・安心」になっています。統一されていないのは単純に事務局の私のミスです。
豊島会長	「安心・安全」で統一しようという意見ですか？
事務局・武田	これまでは、たまたま「安心・安全」が多かったから使用しているというだけで、特に意見はない。この場でどちらがよいか決めていただければと思います。
豊島会長	では、まずその言葉から定めていきたいなと思います。いかがでしょうか？「安全・安心」「安心・安全」、私はいままで聞き、使用してきたのは「安全・安心」だったんですが…
高橋委員	私は今、婦人会の立場からここにお邪魔していますが、以前は縁あって、農業人でもありまして、以前「地産地消」推進を訴えていたあたり、「安全・安心だよ。安全だよ、安心して食べて」といった言い方を皆さんにしてきました。だから「安全・安心」、よく消費者大会などでも、例えば「キャベツ採ったときにも一番上の葉は売るために格好がちょっと悪いから剥ぐのだけど、別に安全だから食べられるよ」と指導してきた経緯があるので、「安全・安心」が染みついていく感じがします。一つの意見として聞いていただければと思います。

豊島会長	確かに「食」を考えると、ずっと入ってくる気がいたします。それから例えば交通事故あたりの物理的状況を考えると安全対策を行ったうえで安心して通行するといったイメージがあります。
下河原委員	私、ある企業で安全担当とか、全国単位の安全大会とか、その時「安心」って言葉は、「はやり言葉」として私は聞こえる。当初から「安全が第一」なんだよ。最近では国会でも「安心」付けないと体裁がとれない。それで「安心」がついてきたんだけど、「卵が先か鶏が先か？」を論じることは無いんで、とにかく従来どおりの安全、身の安全だね、あとは、ハートですよ安心って。物理的なものが安全。心をカバーしてくれるものが「安心」。そう思っています。ここで論じるようなことでは無くて、その大会でこうだって決めればいいことだから。別に憲法に従って云々といったような難しいことではないと思います。
豊島会長	まあ、統一的な表現が必要なので…
百目木副会長	私もこの統一的な表現、安全・安心のどちらが先かについては、やっぱり「安全」があって「安心」できるのであって、「安全」無くして「安心」は無いものと思います。「安全・安心」が妥当ではないかと思います。
豊島会長	「安心」が先だと思われる方、いらっしゃいますか？
中島委員	じゃあ、その前に（挙手）
豊島会長	どうぞ
中島委員	<p>前回欠席して、講義していた時にちょうどここ（環境審議会）のお話をしていて、議事録も見せて頂いて、ver. 1.75の素案も見せて頂いて、考えなければいけないことっていうのがあると思います。</p> <p>P 15の基本目標1～4（環境分野別施策）、或いはP 4の計画の対象範囲でも5つの計画範囲が出てきていて、この計画範囲に基づいて基本目標が設定されていると思うのですが、その前にP 3に計画の目的と位置づけっていうのがあって、国の環境基本計画と県の環境基本計画を踏まえますということになっています。</p> <p>なぜ「自然共生」とか「気候変動」とか「資源循環」とか「快適な生活環境」といった言葉が出てきたかという、環境省を始めとする日本政府が「持続可能な社会の姿」っていうのを2007年の環境立国戦略だったかな？第1次安倍政権の時に閣議決定されて、2014年の第4次環境基本計画といまのところの最新版の第5次環境基本計画で「持続可能な社会の姿」というのが、「低炭素社会・気候変動」と「自然共生社会」と「資源循環社会」という3つの社会をいろんな取り組みで目指していきながらそれを統合的な取り組みとして「日本の持続可能な社会」を目指していくという議論のようなものが示されている。だいたい6年おきに環境基本計画</p>

って更新されるんですが、2012年の第4次環境基本計画で2007年には無かった「安全・安心」だったかな？順番はどっちか忘れてしまいましたが「安全・安心の社会」っていうのを基本とか土台にして、3つの社会の統合的な取り組みを行うことによって持続可能な社会を日本で目指していくことになっていて、なぜ「安全・安心の社会」を基本土台とするかというところ、2012年でなんですけど、前年の2011年の3月に東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故が発生したというところで、安全安心を基盤とした3つの持続可能な社会の実現と統合的な取り組みへの実現を目指していくということが2012年に出されて現在の2018年の第3次環境基本計画に盛り込まれているというところを日本政府の環境基本計画だったり、岩手県庁の環境基本計画を踏まえるっていう話になると、「持続可能な社会」を滝沢が目指していくというところが必要になるのではないかとこのところなんです。

前回の議事録を拝見しますと、順番をどうするかとか・関係をどうするかという話があったのですが、図にしたらこんな感じになるのかな。「安全・安心」、順番はどちらでもいいと思うのですが、これを基盤として、「自然共生」「資源循環」「低炭素社会」今はもう「脱炭素社会」なんですけど、3つの統合的な取り組みによって、日本も岩手県や滝沢市も持続可能な社会や持続可能な地域社会、持続可能な滝沢を目指していく。5つ目の環境活動というのは、全部にかかっていくことになります。「持続可能な地域社会たきざわ」を計画範囲や基本目標の中にどのように盛り込んでいくか。図で表現するとか議論として盛り込むかは別にして、表現としては必要なのだろうと思います。

それで、「安全・安心」どっちが先か、今探してみたいんですけども、第5次環境基本計画に繋がるのでそこで確認してみたいどっちが先か、まあ、そこまで日本政府も岩手県庁もこだわらないと思うんですが、最初の位置づけっていうところで、国や県の環境基本計画を踏まえて、参考にしてという話をあげられている以上、そこは持続可能な社会を目指すという姿と、3…4つの社会？環境政策とか環境活動でどうやって実現していくかっていう説明みたいなものは必要なんじゃないかなと、それが前回の議論の中では…もちろん滝沢市らしさというところで、上位計画に「安心・安全」を入れずに「快適な生活環境」にして、「安心・安全」を上位にもってくるのが望ましいという…まさに豊島会長のおっしゃるとおりのような話でしたら、そのような説明を加えていけば、無理に国とか県の持続可能な社会を目指さなきゃいけないとして合わせなきゃいけないということでもない。ただ、説明は必要なのだろうなって思いま

	<p>す。</p> <p>あとは「安全・安心」はどっちが先かっていうのは今探してみます。分かり次第、お伝えできればと思います。それが前回の議事録と環境基本計画案の中で説明として繋がっていないというところがあったので、ちょうど講義の場でそんなお話をしているので、お話をさせていただきました。参考にさせていただければと思います。</p>
豊島会長	<p>そうしますと、例えばP14の文章の中に今のご指摘の趣旨をうまく盛り込むようにすれば、大きく変更することは無くてもよろしいですね？</p>
中島委員	<p>そうですね、まあ、日本政府だとか岩手県庁の環境基本計画を踏まえ、滝沢市環境審議会とか環境パートナー会議で検討してこうなりましたという一文があればそれでいいのでは…</p>
豊島会長	<p>それは持続可能な社会づくりから逸れるものではないという…</p>
中島委員	<p>日本政府の第5次環境基本計画で、持続可能な社会のビジョンとして出来たのが、「地域循環共生圏」で、地域循環共生圏については、図を載せて頂いているので、それも滝沢市で目指していくという、まっ次どうなるか分かりませんが、多分6年後だから2024年の新しい日本政府の環境基本計画の有識者で議論を始めたということですので、ただそれよりも先に出すものですので、地域循環共生圏も踏まえられているというのを載せて頂いているので、そこも踏まえているというので、大きく変えなくてもいいかな。ただ、国とか県とかの環境基本計画を踏まえて「たきざわらしき」として議論の中でこうなりましたっていうことが分かるような説明が必要かなと思います。だから大きく順番を変えるとか、脱炭素を最初にしろとか、順番があるかないか分からないので、国も県も。それは滝沢で市とか市役所とか環境パートナー会議とか事業者さんが関係する中で議論を尽くした結果という形で報告書に表現できればそれでいいのかなと思います。</p>
豊島会長	<p>はい、ご指摘の「地域循環」という…地域循環の経済というところにおいては、これからもっともっと具体化が必要なのですが、とりあえず今の段階では施策の1・2、1点2点くらいで、あっ、食料については地元産の食品を消費しましょうという項目があります。それからまだまだこれから必要なのはエネルギー関係の地産地消がこれからの大きな課題ではありますが、そっちは「向いています」という意思表示がなされています。</p> <p>じゃあ、この辺りは先ほどの文章の中島委員のご主旨を踏まえて「持続可能な社会」というのに繋がるのだ。滝沢ではこれを安全安心なまちづくりと言っているんだということを述べるということではよろしいですか？</p>

中島委員	<p>そうですね、あの最初のデータで、人口の推移だとか、世帯数の推移だとか、産業の話だとかって言って、もちろんこれ、滝沢市の環境基本計画、環境政策のことなのですが、環境の改善を目指していくっていうのは基本なのですが、ひいては滝沢市がいかに続けられていくかっていう方法の一つでもあると思うのでそういう趣旨で恐らく人口とか世帯とかまさに経済循環のことかな。地産地消もそうだと思うのですが、目指すのは「持続可能な地域社会たきざわ」なのかな。まっ、そのあたりを市長の挨拶のところで、どのように盛り込んでいただくかというのも大事なところかと思えます。純粹に環境問題を解決するっていうのも大きな目標なんですけど、それを方法としてどうしていくかっていうのは滝沢市が滝沢市を継続していくための方法の一つとして持続可能な地域社会だとかいうのがひとつのまさに将来像であると。より中長期的目標を表しているということにはなるんだと思えます。</p>
豊島会長	<p>いまご指摘のあった市長さんの挨拶っていうのは、基本計画には入らないんですかね？</p>
事務局・武田	<p>素案、表紙の裏、ご覧ください。</p>
豊島会長	<p>失礼。そこも、ただいまのご主旨を留意されて表現していただきたいと思えます。</p> <p>あと先ほどの「安全・安心」「安心・安全」の順番について、どちらが正しいか云々というよりは、私たちが馴染みがあるのはどちらかといったどっちがスッと入ってくるかといった感じで、「安全・安心」が多かったように思います。「安全・安心」で統一していただいてよろしいでしょうか？よろしいですね。</p>
各委員	<p>はい</p>
豊島会長	<p>それでは「安全・安心」ということで。</p> <p>それでは（P14）A案・B案・C案ということで仮の例示があるんですけども、今までの流れの中で「安全・安心な生活環境～」という表現は将来像の表現としては欠かせないと私は受け止めております。そのあたりを踏まえてA案・B案・C案或いはその他、もっといい案があればご意見頂戴したいと思えますが。</p>
事務局・武田	<p>ちょっとだけよろしいでしょうか。いきなりだと皆さんなかなかお話しづらい部分もあるかと思えますので、本日欠席されているお二方の審議委員さんのご意見お話しさせて頂きたいと思えます。</p> <p>まず工藤委員さんの分ですが、単純にどれだと問われれば「A案」を支持とのこと。理由は単純明快で分かりやすい。ただし組み合わせが必要で、「鈴の音が心地よい環境のまちたきざわ 岩手山麓の豊かな自然と共生し云々」＋A案というご意見です。</p> <p>それから本日ご欠席の民部田委員、商工会事務局長さまのご意見</p>

	<p>です。将来像については以前の審議会でもお話させていただきましたが、「鈴の音が心地よい云々」は滝沢を環境といった面から表したときに「将来像」をテーマとした場合「たきざわ」をイメージさせる言葉として非常に適切である。いい表現だと考えています。これをより具体的に表現補完する文として今回提示されたA～C案のいずれかを採用することでこの計画は過去からの計画の経緯を引き継ぐものとなり決して過去計画やこれまでの経過を無視するものではないということを表明することにもなる。ただ、私自身過去の経緯を100%承知している訳ではない。とのお話も頂戴しています。結論として民部田委員さんはB案をご指示いただいています。消去法的表現で申し訳ないが、「C案は長い」のでなし。のこりを選択した場合、自分はB案を選択するとのこととなった。以上です。</p>
<p>豊島会長</p>	<p>はい、この点に関して議論するうえでどうしても整理しておかなければならない点は、「将来像」と「イメージ」というのは違う。分けて考えていく必要があると思います。この「鈴の音～」というのイメージで、小さい文字でこれまで使用していたものであります。ただご指摘のように「いい表現だ」という部分があります。私もそれは思います。ですからイメージとしてその言葉を使うのは私としてはやぶさかではないのですが、「将来像」といってその下に具体的な施策が並ぶというこの基本計画、将来像にはなかなか合わないなと思った次第です。理由は、将来像に「鈴の音～」を使用するのであればそれにあつた施策が具体的に並ばないとおかしいです。そういった意味で「将来像」には成り得ない。イメージとしては大変いい。そこを切り分けると整理つくんじゃないでしょうか？と思うのが私の意見であります。私見を述べました。いかがでしょうか。</p> <p>そんな意味で新たにP14で新しいバージョンのほうで文を起こしていただきました。その意味で、前半・書き出しからイメージから入っているということは、大変いいなと思いました。市民の方、まずこのページを見てスーッと入ってきます。これはいいなと思いました。将来像にこの「鈴の音～」を持っていくのは、これは不適當だと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>下河原委員</p>	<p>ちょっと考えた言葉なんです。「鈴の音」っていうのは、今会長さんがイメージしたのと同様で、「チャグチャグ馬コ」を連想させる。あるいはそうして欲しいっていう頭出しだと思うんだけど、現実、ジェットが飛んで、戦闘機が飛ぶ時代に、「チャグチャグ馬コ」は馬が少なくなっている。で、何言いたいかというと、私も疑問を感じてるんですが、んじゃあ、変わる言葉は何かという</p>

	<p>と、自然が残っている、空気がきれいな、岩手・滝沢、これを連想するような言葉は、馬っコだけでは賄いきれないと思うんですが、どうでしょうか？頭から否定してるんじゃないかと、何か替わるもの、選考していかないと若い人達、これについてこれないと思う。どれも大学の先生様のイメージは若人をリードするのにもっとハートに効いた若い人なんかを揺るがす言葉がいかほどのものかと思うんですが、私もここで言ってるんですが、馬コに負担がだんだん多くなってきているんじゃないかなと。まあ、ちょっとここで暴言吐くんですが、馬っコ滝沢と私も懐かしいし、年配者もそういったイメージを連想します。ところが、馬を集めるにどうですか？なんか隣の町村に馬代か何か支払って新馬（神馬のことか？）を投入しないと蒼前神社に馬が集まらないという、なんか寂しい感じがするんですが、まるまるダメだって言ってるんじゃないかと、若い人たちが受け入れてくれるような、なんかこれから次世代を開発する皆さんの前で言うのは失礼ですが、何かいいアイデアがあればご提供いただきたい。</p>
豊島会長	<p>イメージとして、表現することは否定しない。だけれども将来的に特に若い世代がどう受け止めるかあたりを考えながら、これからよりよい表現があれば作っていくということでもよろしいですかね？</p>
下河原委員	<p>はい</p>
豊島会長	<p>ある場面で、若者に表現する場面って、本当になんというか、私の頭では出てこないような、ものが求められているというのも事実なんですけれども。まあ、いまこの場では、「鈴の音～」の表現、これはイメージとして使っていく。だけれども将来像としては、「持続可能な社会」の開発をしていくうえで、滝沢は「安全・安心のまちづくり」だよという…</p>
下河原委員	<p>すみません、この貴重な会議の、審議の中で延べさせてもらって恐縮ですが、紅白歌合戦を懐かしいと思う気持ちはまだある。これまた演歌が出てこないとかね、いま何やってるかという、若い人たちのビートの効いた踊りだとか、こういったものが世間的に受ける…受けるんでしょうか？ 紅白っていうイメージもこれからはなんでもある。(一部、削除)馬コに固執する必要は無いように感じますが…もう少し、こう、あたりにあれば率先して追従したいんですが、いかがですか。</p>
事務局・久保部長	<p>ちょっとすみません。ご紹介なのですけれど、今若い方で、滝沢で馬を自分たちで飼育したりとかしようとしている方がいて、馬を滝沢の中で育てて、先ほどおっしゃったとおり他から借りてくるのではなくて自分たちで生産してやっていこうという若い方々の活</p>

	<p>動が生まれてきています。</p> <p>いまある滝沢の良さを「持続可能にしていこう」という動きが、今度は馬糞を肥料とかに活用する「循環社会」にしていこうとする若者もいます。馬コと循環型社会、そういったことを繋げて考えている方たちの活動も出てきています。丁度いまこの環境基本計画の中で考えている先ほどから先生方おっしゃられている「循環型社会」の考え方が馬コと繋がっているということ。そういう考えを持っていらっしゃる方々もいて、こういう動き・活動があるということをご紹介させていただきます。</p>
<p>百目木副会長</p>	<p>この「鈴の音～」の馬コの件ですけれど、今年の1月1日にはですね、鬼越蒼前神社の元旦祭に、チャグチャグ馬コが初詣ということで、かなりの頭数が、ちゃんとチャグチャグ馬コの装束を着て乗り手もいて、そういった活動もしていますし、1月8日の前だと成人式ですけれど、今年から「二十歳の集い」というふうに変更になって、アピオで実施されたのですが、その際もチャグチャグ馬コが出馬して、二十歳の集いの出席者と記念写真を撮ったりしています。</p> <p>滝沢市はこのチャグチャグ馬コにいろいろ力を入れていると思います。そういった意味でですね、イメージとして「鈴の音～」はこれでいいんじゃないかと思います。やはりチャグチャグ馬コもコロナで何年か実施できなかつたのですけれど、去年は実施して、市民の皆さんが実施されたことに対し、大変喜んでいただいているということもあります。これらのことを考えますと、この「鈴の音～」は私はいいいんじゃないかと思います。</p> <p>それから具体的などころですけれど、A・B・Cでありますけれども、私はC案がいいんじゃないかと思います。確かにちょっと長いんですけども、頭（出だし）を安全・安心に替えて、「未来に引き継ぐ」という言葉が入っています。それから、二行以降が、「地域資源循環を大切に、脱炭素型社会を目指し、環境を知り・学び・行動するまち」と入っていますから、こういった姿勢がいいんじゃないかなと私は思いました。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>つづけて、私、神社（鬼越蒼前神社）の総代でございますが、様々なところで関わらせていただいておりますが、若者はすごく（馬コに）興味があって、係留しないときにも「係留してください」という要望があったり、神社で集まるときも皆さん喜んで来ているかに思っています。</p> <p>これは先ほど百目木委員さんが仰ったような形で、本当に大事なところは「未来に引き継ぐ」というのは「鈴の音」を感じられる滝沢という意味がある。もう村から市になって10年ですがその10</p>

	<p>年間、私、いろいろなところに関わってきて（感じているのは）、若者が常にいろんなところに集まっているのです。それは自分たちがこの市を盛り上げていくのだという気持ちがすごく強いのです。</p> <p>常々いろいろなことを考えているので、私も偶然ですけど、C案の盛沢山ではあるが、いいなど。「安全・安心」もそうですし、やはり若者も頑張っていけるそういう力を我々が差し伸べられればいいのではなかなと思います。以上です。</p>
豊島会長	<p>はい、長いけれども言いたいことが盛り込まれている。一番最初には、中島委員でしたね、こういうことを全部表現したら、大体言いたいことが含まれるのじゃないのという、ただ、そこで一つだけ欠けていたのが、「何を引き継ぐ」のか？。でもこれまでの議論の中で、いわゆる「安全・安心な社会」を引き継ぐんだという言葉がみつかった。それに私は感激をしたところです。それを埋め込んで「安全・安心の生活環境を引き継ぐために～」ということになると、この計画の目指すものは漏れていないなと思うんですね。</p> <p>さて、そう考えるとそこから一つを選び出して将来像を掲げるというのはなかなか難しいのか、或いはもう一回繰り返させていただけます。</p> <p>一つの案として、「安全・安心な社会を目指すまち」とし、副題として、その時一番重点とすべき脱炭素社会を目指すというのを副題に入れるというそのあたりでどうなのかなと思いますが。まあ、全部表現すると漏れることは無いんですけども将来像として掲げるにはちょっと長いかなと思ったり…。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
下河原委員	<p>あの、私個人で馬を否定した訳ではないんで、心の中では、馬を眺めたこともあるし、懐かしさがいっぱいあります。</p> <p>で、今言わんとするのは、これは今年のバージョン、また来年は来年でこういった審議会があつて、よいよい、身の厚い、馬コの匂いを含めながら、将来構想に<b>則った</b>プランが恐らく出来ると思います。だから現時点で、皆さんの心が通じれば、この第1次構想とか第2次構想とかすばらしいものが包含されて出てくるそれに越したことはない。</p> <p>まっ、ちょっと蛇足ですが。紛らわしい表現は言ったかもしれませんが、お許してください。馬は大好きです。</p>
豊島会長	<p>環境基本計画は見直すことになっていまして、6年後でしたか？</p>
事務局・武田	<p>本来であれば一回目の環境審議会でご説明すべきだったのですが（実際は説明を尽くしているが）、計画の期間が8年あるので、8年たつ前、6～7年目の時点で基礎調査や策定作業で見直しをおこなって、また計画期間中、あまりにも計画が現状とあわなすぎる</p>

	<p>場合は、随時審議会等で見直しを行っていくこととなるのです。だから、計画を毎年、来年も必ず見直すという訳ではありません。</p> <p>毎年、必ず審議会委員の皆さんにお世話になるのは、この計画を受けてその年の環境活動の結果はどうだったのかという、一回目の環境審議会、ここの会議室で開いたときですが、環境年次報告書というのを出したのです。これを年度ごとに計画に対してどうだったかを検証していく形なので年次報告書の検証は毎年お願いすることになります。</p> <p>事務局の説明不足だったかもしれません。失礼しました。</p>
豊島会長	<p>表現云々というのは、毎年でも変わりうるということでしょうか？そのようなニュアンスのご説明でしたけど？</p>
事務局・武田	<p>はあ？</p>
豊島会長	<p>前の（現行計画）では、5年目に見直すこととしておりましたが、今回は、表現の訂正ぐらいは毎年できるといったことですか？</p> <p>あるいは中間年にやはり…</p>
事務局・ 田沼課長	<p>目標値とかですね、明らかに社会情勢と計画が合わなくなってきた場合、国の方針が変わったとか、行政的な目標が明らかに変わった場合など、すり合わせをするための直しはするということです。将来像とかを基本的にはいじることは無いということですよ。</p>
豊島会長	<p>はい、わかりました。</p> <p>もう一回繰り返しますけど、その意味では「鈴の音～」に関しては、文章の前半部分だけはほんとうにいいなと思いました。</p> <p>ただ、これが将来像に掲げられるものではない。と思います。</p> <p>さて、そうしますとA案B案C案…はい、どうぞ。</p>
渡邊委員	<p>今の話ですと、8年間変わらないのであれば、全部を盛り込んでいるC案がいいのかな。これから8年間どういう社会になっていくか分からないんですけども、これらが全部盛り込まれていけば、どれかに当てはめることが出来るであろうと思いますし、あと「鈴の音～」はイメージとして残して…</p>
豊島会長	<p>イメージとしてね！</p>
渡邊委員	<p>観光協会さんのキャラクター「ちゃぐぼん」ありますよね。やっぱり滝沢市としてチャグ「チャグ馬コ」を押している観光協会も、ちゃぐぼんで押しているという連動があるので、そういった意味でもいいのかなと思います。</p>
豊島会長	<p>中島委員、いかがですかね？</p>
中島委員	<p>はい、学者の端くれっぽく、理屈っぽい長さなんですけど、本当は50字～100字以内で表すといいと思います。今回配っていただいた ver. 1.85 のP15の施策の体系のところの環境の将来像のところはカットされていますが、ver. 1.75のほうでは将来像が入力</p>

	<p>されている部分、黒字のところは、結構短くまとめられていて、ここでは「地域資源循環」と「環境活動」が要素としては入っていないんですけど、このくらいの長さにはできるのかなと。C案を。イメージとしては、書かれている「鈴の音～」っていうのがある意味、たきざわらしさ、滝沢の環境らしさっていうのを表現するのに適切であるということであつたら盛り込んだほうが良いということと…</p>
豊島会長	<p>将来像の中にもということですか？</p>
中島委員	<p>イメージです。</p>
豊島会長	<p>イメージね！、イメージ！</p>
中島委員	<p>で、将来像のところは、ver. 1.75 番の P 1 5、短く「地域循環資源と環境の行動をする」というのが無いので、それを盛り込むことでもっと短くできるかなと。</p> <p>あともう一つ、土台の環境というのは、人間社会と自然との関係を表す表現ですけど、盛岡市役所さんの条例では「環境は自然との関係に加えて歴史的な環境」っていうのも盛り込んでおられて、この場合の歴史的っていうのは、文化遺産みたいな、文化財みたいな建物のような形あるものと、それこそ文化とか歴史とか、なかなか形にはないもの。2つで入っていて、この場合の環境は自然との関係と歴史・文化との関係ということ踏まえると、「鈴の音が心地よい～お馬さんの存在」だったり、チャグチャグ馬コという歴史的文化的な行事だったりということで、将来に残すような環境ということで、イメージしやすく、さきほどご説明いただいた若い世代の方々も参加している人も少ないかもしれないが、出てきているという、象徴的なイメージを表す言葉だったら、それをまあ、滝沢市に生活してもいない私ではなくて、あるいは、若い人の話を聞きたいんだったら、たきざわ環境パートナー会議で中学校も高校も大学もあると思うので、聞かれるといいと思うんです。今はもう間に合わないと思うので。</p> <p>別の岩手県内の地方公共団体の環境審議会の委員を務めて、この時の環境基本計画、8年だか10年間のをしたんですけど、ここでは大学は無いんですけど、中学生と高校生にアンケート調査をしていた。若い世代の意見を取り上げたいんだったら、もう直接聞けばいいと思います。統計の処理をすれば、何人聞けば<b>妥当な</b>意見となるのか、アンケート調査の方法もあると思うので、まあ、直接きかれたほうが早いのかなって、今からは間に合わないかもしれませんが。気持ちは若い人で話してもなかなか出てこない部分もありますので。</p> <p>以上です。</p>

豊島会長	もう一点くらい整理しておいたほうがいいのかという点、まあ、そのイメージというのと将来像というものの書き方です。書き方です。あの恐らく一番上のここに将来像が入る。中身はこれからですけども、しっかり入れると同時にこの皆さんが大事にしたいというイメージ、これはどういう形でいれようかという、まあ、入れるとしたら、チラッとですよええ…。チラッと…。
事務局・田沼課長	例えばですね、2番目のタイトルをですね、「環境の将来像」となっているものを「たきざわの環境の将来像とイメージ」というタイトルに替えて将来像とイメージ2つを並列する形はいかがでしょうか？
豊島会長	ああ、その言葉を並列ね。イメージがここに来る（P14）という感じですか？（P14数か所を指し示しながら）ここに将来像とイメージですか。ここにイメージが来るんじゃないよね。云々。
事務局・田沼課長	はい。そうです（適時）。 だから、P14の2の見出しが二つ併記になっていないから、将来像とイメージの二つをここに掲げますよといった形で表記すれば、イメージに関してはほぼ皆さんからのご理解は得られたと思いますので、将来像とイメージですという形にしまえば、そのまま分かりやすいのかなと思います。
豊島会長	そうするとこの文章も生きますね。
中島委員	将来像と目指すべき姿みたいなのをタイトルにしまえば、総合的なイメージが将来像で、具体的にした環境の姿っていうので、A～C案…
豊島会長	もう一度、2番目のタイトル（P14）を？
中島委員	環境の将来像と目指すべき姿、みたいな…
豊島会長	そして3番施策の体系に将来像として入れると。
中島委員	A案～C案のどれかを入れるということ…
豊島会長	「将来像」という言葉ではなくて、「目指す姿」という言葉に替えたほうが良いということ？
中島委員	像とイメージって変わらないと思うので、より具体的にしたのがA案～C案、目指すべき姿っていうのは、先ほどご説明した日本政府や岩手県の持続可能な社会を目指すという。具体的にどういうまちを目指すかっていうものが、目指すべき姿っていう表現かな。
事務局・田沼課長	先生のいう将来像という言葉はイメージのほうに近くて、A案・B案・C案というのは目指すべき姿っていうことですか？
中島委員	そうですね、イメージをどう形にしていくとか、具体的な…より、イメージを説明することをタイトルに示して、文書に示してっていう形のほうがより分かりやすい。

豊島会長	将来像という言葉、最初の案から登場してきて、それに疑いも持たずに乗っかっておりました。けれども今のご説明では、「将来像」という言葉を無くして、「目指す姿」にしたほうが、市民には分かりやすいかな。
中島委員	無くさなくてもいいかなと思うのですが。
豊島会長	2つもいない！と思いますね。目指す姿と…
中島委員	「鈴の音が心地よい環境」ってどんな環境？って話になるんですよ。
豊島会長	いや、それはあくまでイメージなので、置いておいて、置いておいて。そこを具体化しようとするこの施策の体系では、全然実現されるものではないです。
中島委員	まっ、計画の中なので、ここに掲げられている施策の中で目指していくという感じになると思うのですが。 後は繋げ方というか、進め方だと思います。
豊島会長	今までのご意見を聞いて、一つ提案です。2番目のタイトル（P14の2のタイトル）提案させてください。2番目のタイトルをですね、「たきざわらしさと環境の目指す姿」こんなもんでどうかなあと思いましたが、「たきざわらしさと環境の目指す姿」…
中島委員	「たきざわ」は平仮名で…
豊島会長	はい、そうですね、それがいいです。 「たきざわらしさと環境の目指す姿」… 今回が最終という位置づけではなくて、可能ならばもう一回やりたいという気持ちでいます。それで、今のタイトルで、更には、そうですね、今の段階でA案・B案・C案、どれか盛り込んで一つ作っていただいて最終的に次回決定という流れでいいかあと思いました。
中島委員	3月にもう一回予定されているんですよ。
事務局・田沼課長	あの、今後やらなければならない決まり事がございまして、パブリックコメントを実施しなければなりません。そちらに時間をかけなくてはならないので、今年度中に計画を決定したいものですから、パブリックコメントは2月中にやることに決めております。今日の会合の中身を受けてですね、パブリックコメント版の案を作って公開します。意見が来る来ないもあるでしょうけども、そのあとにですね、審議会へ答申（諮問のこと）をして、諮問（答申のこと）をもらうという予定で、もう一回は間違いなくあるんですけども、この会については、あまり大掛かりな変更はないものと認識しております。
豊島会長	そうするとここで固めるべきものは「パブリックコメント版」、それを固めるということですね。それではあの、いろいろご意見あ

	<p>ろうかと思えますけれども、2番目のタイトルは先ほど申し上げました「たきざわらしさと環境の目指す姿」、これでいかがでしょうか？ これで決めたいと思います。そして、この文章の下のほうにイメージとして「鈴の音～」の表現を、それからこっちは「目指す姿」としてA案・B案・C案のどれかが入って埋まるというそういう体裁でパブコメ版を回したいと考えます。</p>
事務局・田沼課長	<p>会長、確認です。「たきざわらしさ」という部分がイメージだということでしょうか？</p>
豊島会長	<p>はい。</p> <p>それではその目指す姿の中身としてA案・B案・C案とありまして、それぞれ意見が出ましたけれども、長いけれど市民が見て漏れなく理解して頂くのは長いけれどC案になるのかなと思うようになりました。従ってパブコメ版では、C案を入れ込んで「目指す姿」にしてはいかがでしょうか？</p>
事務局・武田	<p>このようにご提案していますが、必ずA案・B案・C案のどれかを選ぶという意味ではなく、こう提案しないと議論してもらえないからこの形をとっただけであって、A案の補助補足としてC案を採用するといった形もあります。</p>
豊島会長	<p>副題のような使い方もありということですね。</p>
事務局・武田	<p>さっきの ver. 1.75 の中島先生の仰った「岩手山云々～」といった部分の位置づけとしてC案を持ってくれば実はAもCも生きるという公務員によくありがちな、「足して2で割る」的なやり方で申し訳ないんですけど、そうするとさっき渡邊委員さんから頂戴した「時代の流れの激しい中で全部含んでいるものをこうだよ」とある程度明示もできる。じゃ、その明示したものって何と云えば、「安全・安心の生活環境を目指すまち」だよ。そのイメージってなんだとなれば、民部田委員さんのご意見どおり「鈴の音が心地よい～」だよ。心地よいからには自然環境を大事にするという背景・裏付けがある訳であって…というのをわがまま取りできる方法もあります。ですので、必ずA～C案のどれかということではなくて折衷案でも全然構いませんといってしまうとまた時間がなくなるかもしれませんが、そういう部分も含めてご検討いただけるとありがたいです。すみません。余計なことを申し上げました。</p>
豊島会長	<p>このA～C案について、<b>それ以外</b>の候補というのも私も考えようと思いましたが、思いついたのは先ほど申し上げました「安全・安心な生活環境を未来に引き継ぐまち」・「脱炭素云々～」を副題にするという方法です。</p> <p>候補を挙げて頂いた中で、C案がお二人から支持されたということで、更に事務局が言うように、2段重ねで「安全・安心な～」そ</p>

	<p>の下に「C案の内容」を書くというのもありということですが、ただちょっとそこまでくるとくどいとおもいます。なのでC案を「目指す姿」の中に入れて込んでパブコメ版とする方向としてはいかがでしょうか？</p> <p>なかなか短い言葉で複数の膨らみのある内容を全部っていうのはどうしても難しい。その中には、何かを重点化しないと表現しきれないという点がありますね。</p>
事務局・田沼課長	<p>あの、例えばですね、C案が長いって話が出ていると思うので、C案の頭の部分ですね、「安全・安心な生活環境を未来に引き継ぐまち」で一回切ってしまうと、それ以降を副題にする…</p>
豊島会長	<p>あっ、スッキリしますね。それでいいと思います。皆さんいかがですか？ もう一度申し上げます。P15の上の空欄のところは、「環境の目指す姿」その中に表現としては今課長さんがおっしゃった表現がいいと思いました。「安全・安心な生活環境を未来に引き継ぐまち」・副題、どうやって引き継ぐの？の説明になりますね。「岩手山麓云々～行動します」というのが副題になると。なんか収まるような気がしますね。</p>
高橋委員	<p>スッキリしますね。</p>
豊島会長	<p>いろいろ議論すると行き着くところがあるもんですね。ありがとうございます。</p> <p>じゃ、その方向でよろしいですか？</p>
各審議委員	<p>はい。</p>
豊島会長	<p>はい、ありがとうございます。ただ、ご意見の中で「鈴の音～」これは大切な表現だなあと私自身も再認識しましたし、行事、引き継いでもらいたいなあという気持ちはあります。ただ、「目指す姿には馴染まない」ということです。イメージは大事です。</p> <p>あと、もう一点、先ほど大きな時代の流れというのは今、「脱炭素社会」なんだということを申し上げました。そこからは目を逸らせないんだなと。そう考えるとP15の分野別施策、5つ項目がありますが、一番上に「気候変動に対応するまち」が掲げられるべきではないかなあと思います。</p> <p>左を見ると分野横断的施策の中でも「気候変動に適応する～」が一番上にきています。一番目に付くところが「気候変動」だということで、時代の流れを反映していると思います。この点はよろしいですね。この「時代云々～」の流れを横に置きますと、なかなか難しいです。いろいろな視点で一番にしたいという…では、この順番で決めたいと思います。</p>
中島委員	<p>脱炭素社会を一番にするということですがけれども、今回のver. 1.85のP2に書いていただいたように、昆明・モントリオール</p>

	<p>生物多様性枠組条約と書かれていますが「条約」はいらないです。</p> <p>それから生物多様性の流れも、本当に一ヶ月二ヶ月前の流れなのですけれども、実は出てきてて、脱炭素に比べると再生可能エネルギーみたいにあんまりビジネスに乗らないので注目されないんですけど、生物多様性は動いてきそうな…あんまり企業、特に大企業なんかはあんまり関心が無いと指摘されているんですが、これからやっぱり潮流としては大事になってくると思います。まっ、気候変動と生物多様性は同じ1992年に国際条約が出来て、そこからずーっときている話なのですが、気候変動に比べて生物多様性はあんまり目立たない中身なのです。あと、豊島会長おっしゃられた時代の流れという話だと、これから生物多様性とか、自然共生だとかっていうのは、益々求められそうな感じにはなっているというところから考えると、脱炭素・気候変動・生物多様性・資源循環っていうので、この3つ（4つ）を統合的に取組むということで、「安全・安心な環境」っていうのを協働だとか環境活動で実際に支えていく、パートナーシップも生かしながら取り組んでいく。時代の流れと繋がり方と基本目標と<b>具体的</b>施策とっていう繋がり方としては望ましいのかな。一番に「脱炭素・気候変動」を乗っけるっていうのはこれはよろしいと思います。</p>
豊島会長	今の時点では…ということですね。
中島委員	ただ生物多様性がどうも動き出しそうだということですね。
豊島会長	そちらの動きも忘れずにいましょうということですね。まっ、この計画期間の8年の中で、時代がまたガラッと変わって、別のところに大きな流れがきた段階では、項目をあげたりだとかは、やるべきだと思います。やれると思います。その段階で。ただその点、忘れないでくださいということですね。
中島委員	脱炭素にしてもSDGsにしても正直10年くらいみえていますけど、日本でこんなに普及するとは思ってもみなかったんで、これからの8年がどういう展開になっていくのか、ますます分からなくなっていくところがあると思うので、若い世代が何を大事にしていくかっていう、それまでの世代間の対立とか分裂とかおこっちゃいけないと思うんですけど、考え方とか価値観の違いっていうのは出てくるものなので、新しい取り組みで若い世代は滝沢で何とかしていこうという…まあ、そこもある程度念頭においた現時点での計画っていうのを策定されたいって思います。
豊島会長	ではそこが確認された今日、私が一番メインに据えたP15のアウトラインは出来ましたので、ありがとうございます。 そのほか、目についた点、ございませんか？
中島委員	たきざわ環境パートナー会議の存在と役割って、滝沢市とか滝沢

	<p>市役所の環境政策とか対策とか活動にとって、特色ある存在であり、取組みだと思っているのですが、出てくるのはP26ですけど、3番目の「多様な世代間の継続的な協働体制の構築」というところに「たきざわ環境パートナー会議」と出てくるんですけど、もっと早く、P5のところ「計画の主人公」というところがあって、市民・事業者・市民団体が（市も）協働により計画をさらに推進していくというところのまゝ、ちょっと下に空欄があるので、ここにひとつ、たきざわ環境パートナー会議が計画の役割をメインで担うって話では無いんですけど、象徴的な存在であり、役割を実際に続けてこられたという点では、早めにここで出しておくことが大事なのかなあ。私、先ほど申し上げたとおり、滝沢市役所も含めて岩手県内の6つの公共団体で環境政策とか環境基本計画の策定に関わってきているのですが、たきざわ環境パートナー会議のような存在が役割を担っているのは、他ではしていない。日本全国で滝沢がオンリーワンかと言われると、そこまでは解らないですけど、全国的にもすごく重要な存在で、環境への活動と役割を担っていると考えると、たきざわ環境パートナー会議と環境審議会の2本柱、岩手県内だと二刀流って使うのですけど、環境政策実際に進めてこられるところから考えると、アピールでもないですけど、その存在と役割をもっと大切に表現されたほうがいいのかないところかひとつ。</p>
豊島会長	<p>埋没している感はありますねえ。</p>
高橋委員	<p>関連して。私、実働部隊だと思っているので、心強い支えてくれる仲間だと思っています。鈴木さん（皆川さん）もそうですし、先生もそうなのですが、やはりこの方々の力は私たちも頼っていいだろうし、いいお考えを持った方がメンバーなので、いま中島先生おっしゃったように、日の目を浴びるっていうと変ですけど、P5でもう少し表に出てもいいのかなあと思います。つくづく思っていました。ああ、今日は千里さん（皆川委員）こないなあ。彼女とはつきあいが長いので。今日言おうとおもっていたら、今日たまたま中島先生と意見が一致したのでうれしく思います。</p>
中島委員	<p>これまでなんか受賞歴とかあるのですか？たきざわ環境パートナー会議としての受賞歴とかは？</p>
豊島会長	<p>振興局で一度表彰されたことはあります。環境保全のほうです。</p>
高橋委員	<p>実働部隊では、なかなかないですよ。ここまでやってくれるところはね。注目されていたと思います。私も記憶にあります。</p>
豊島会長	<p>まあ、この会議が立ち上がったのは、環境条例が出来た時にそこに盛り込まれたんです。そこで、役目の大きなものとしては、計画</p>

	<p>づくり、ここにも環境パートナー会議から入るんですけれども、もっと大きい役割は進行管理、毎年毎年、こういう計画立てたけども、どこまで達成したの？しないの？それひとつひとつチェックする！ そのこのところはかなり時間かけてやってきました！これからもやっていくつもりです。</p>
中島委員	<p>それでしたら、もう P 7 4 に計画の推進体制で名前出てくるんですけど、P 7 5 の PDCA サイクルのところの check に名前を書かれたらどうかと思います。</p>
豊島会長	<p>そこ大きいですね！ Do もそうですね！</p>
中島委員	<p>Do と check のところに関わっておられるところを書いたほうがよろしいかと。</p> <p>それともう一つ、連携とか協働とか出てくるんですが、パートナーシップという言葉で使ったほうがいいんじゃないかと思ってて、ただですね、P 2 6 に行くとパートナーシップ形成と協働体制って使い分けているのですよ。これは使い分けたほうがいいのか、或いはパートナーシップという言葉を出して（連携・協働）みたいな表現がいいのか、まさに たきざわ環境パートナー会議のパートナーってところをより計画でも生かしていく表現になるだろうと思います。</p> <p>パートナーって、いろんな関係者が対等な関係・対等な立場で共通の目的に向かって出来ることを自分たちで役割分担を果たして一つの成果を目指していこうっていう重要な考え方なのです。</p> <p>そこで、連携でも協働でもパートナーシップを合わせているんですけど、パートナー会議のパートナーをもっとパートナーシップという言葉で打ち出したほうが、逆にそれもひとつのたきざわ環境パートナー会議の存在とか役割の重要性をより表現しやすいことなんだなあとは思っていました。</p> <p>ただあの使い分けがあるんですしたら、パートナーシップと協働って違うと使い分けられているのであれば、P 2 6 のように使い分けでらっしゃるのだったら、使い分けてもいいとは思いますが。</p>
豊島会長	<p>それじゃあ、あの、パートナー会議に関わる表現などについては、事務局とパートナー会議のほうでまた詰めさせてください。</p> <p>他にございませんか？</p>
中島委員	<p>小さいことでよろしければ…。</p> <p>まず ver1.85 の P 3 5、施策の方向性っていうところで、2 段落目が一つ右にずれていなくてはいけないのではないかと思います。</p> <p>P 1 0 4、気候変動のところ、一番下に成果指標があって、環境指標、市内の再生可能エネルギー導入量の 72141kW のところ、コンマの位置が違うんですが、2 6 年度の数値が一ついらないんじゃない</p>

	<p>ないかと思います。か、小数点つけるかですね。ここはご確認いただければいいと思います。</p> <p>滝沢市内の再生可能エネルギーの導入量25%ということになっていて、ただ結構2013年度比の二酸化炭素温室効果ガスを減らすって高い目標を立てられる根拠なのですけれども、ここの数値が気になったのでご確認いただいて修正していただければと思います。以上です。</p>
豊島会長	はい、他にございませんか。
下河原委員	私もちょっとした関連ですが、滝沢でバイオシステム（後文との関係から恐らく再生可能エネルギー利用者及びバイオマス発電施設を意味するものと推測する）云々という字句ですが、これはどこを意図して言わんとしてるのか知りたい。
事務局・田沼課長	もう一度お願いします。
下河原委員	再生エネルギーを利用しているという言い方が書いてあるんだけど、学校のボイラーだとか病院のボイラーだとか、燃焼器具を恐らく表現してるんですが…
事務局・田沼課長	どこのページのことですか？
下河原委員	P104です。
事務局・田沼課長	市役所庁舎・小中学校及び交流拠点複合施設で太陽光発電システム・蓄電池・地中熱システム設備等を設置し、稼働しています。（計画書素案P104取組指標該当部分朗読）
下河原委員	具体的にお願いします。
事務局・田沼課長	太陽光発電につきましては、市役所庁舎、玄関入って左側に発電量を示すパネルがございます。小中学校については、全部じゃないんですが、太陽光発電を設置しているところがございます。あとお向かい、ビックルーフですね、ビックルーフは太陽光発電、地中熱利用設備、ヒートポンプを備えています。
下河原委員	ヒートポンプっていうのは、温水利用ですか？
事務局・田沼課長	いや、地中熱です。地中熱。
中島委員	地中熱って、パイプで地下の熱を熱交換で地上に持ってきて云々。
下河原委員	その設備はどこにあるんですか？
事務局・田沼課長	ビックルーフです！
中島委員	あー、あれ地中熱だったんだ。温かいなあと思ったんです。
下河原委員	エネルギーの関連で、滝沢でごみ発電やってるよね？
事務局・田沼課長	清掃センターで溶融炉の余熱が出る訳ですが、余熱を利用して発電して、清掃センターの中で使用する電力の一部を賄っています。
下河原委員	売電はやってないの？

事務局・田沼課長	一部ですから、売電するくらいは発電量は無いです。
下河原委員	そういったことですか？ここで表そうとしているのは？成果ありっていうことを。AとかBとか、それが健全に熱効率も良くて、推移しているということでもいいの？
事務局・田沼課長	そういう趣旨です。
下河原委員	新しく開発する意図は無いんですか？
事務局・田沼課長	とうぜん今回の計画にも書いている訳ですけども、新しい施設を新設する場合は再生可能エネルギーについては、設置を検討するというようにしています。大規模改修がある際の施設にも再生可能エネルギーの設置を検討していくこととして計画に謳っています。
下河原委員	将来構想はあるんですか？
事務局・田沼課長	具体的なものは今はありません。ビックルーフを立ててお金がもうないので。
下河原委員	ごく最近、一週間以内で小岩井の山の伐採が始まって、鬼越峠。直接市の事業じゃないと思うんですが、業者、あぁいった木材とか切れ端だとか、紫波では…関係ないのかな。
事務局・田沼課長	山林に関しては、当然市有林もありますけども、滝沢の場合、あまり市有林多くなくて、ほとんど国有林なのです。他に(トツメ)民有林ですね。個人の方の山があって、滝沢の場合個人の方の植林している山があって、個人の方が伐採されて再造林するとか、そういう流れです。
下河原委員	わかりました。私、ここでどういった規模で運転してるかお聞きして評価がAとかBとか誰が評価しているの？
事務局・田沼課長	これあの、過去の結果をまとめたもので…このページはですね、えーと、P96ですね、P96以降のページで従来計画での取り組み状況の報告の一部でございまして、ですから、前の計画は25年度に策定していましたので、25年度の計画のものと、令和2年度にまとめたものを比較して、AかBかCかと評価したものであるということです。
下河原委員	わかりました。あの評価の方法は過去のデータと比してまあやってるんでしょうから、これからの将来構想が滝沢のバイオマスだとか再生エネルギーによるっていうのはあまり強く感じられないで、まっ、そうゆうもんだ、ということで、ちなみにあの一、盛岡のお隣…川井かな？
事務局・田沼課長	宮古になりました。
下河原委員	宮古か、宮古では、バイオマス発電所を作りました。木を伐採しましたら、木材の端くれを燃焼して蒸気にして今盛岡方面に送電線によって送っている。それから雫石の小岩井農場の牛とか牛糞とかね、あれのバイオマス電気、小型の発電機を使って…これは私のや

	つで、小岩井農場さんが売電で線をつなぐっていうので、何言いたいかというと、明るい未来のチャグチャグ馬コじゃないけれど、滝沢でもそうゆうプラントだとか、木伐採するんだったら、そういうのに使うとかをご期待申し上げて、発言を終わります。ありがとうございました。
豊島会長	他にございますか。 無ければこれで締めたいと思います。 それではP 1 4～1 5、体裁を整えて頂いて、パブリックコメント版、作成していただきたいと思います。パブリックコメントで市民などから出された意見などを確認して、最終的に審議会で計画を固めると、答申するという流れです。
下河原委員	あ、最後に一つだけ、短く、短く。 あの今日この席に座らせてもらったらまた、おなじようなのが2冊（計画素案資料のこと）ある。これ全ページじゃなくて、抜粋かページ差替え（判別不能）とかにしたほうがいいんじゃないでしょうか？
豊島会長	資料のバージョンが上がっているのです。こちらからプラスして修正されたもの…
事務局・田沼課長	あの一、最新版はですね、資源のことを気にして差替えを考えたんですけど、結構な量の変更があったものですから、かえって手間がかかるということでこういう形になりました。
下河原委員	次の審議会のときはまたこんなの頂けるんですね？
事務局・田沼課長	そうですね。最新版としてですね。諮問という形でお出ししますので。ほぼ最終版として審査してもらって…。
下河原委員	ここにテレビあるんだからここにクリックして映し出したらいんじゃないの？ 資料だって捨てる訳にいかないしさあ。いま学校でもやってるじゃない。ここにテレビ画面が2つあるんで、必要であればコピーしていただいて、まっ、またすみません。蛇足になりました。紙代かかっているなって思って。再生エネルギーの話、紙の話、今日しましたけれども、終わります。
中島委員	まだ公表されていないので、リサイクルに回すという方法もありますけれど。
豊島会長	それではとくにこのVer1.85にP 1 4～1 5の体裁を整えていただいて、パブリック版、回していただくということでお願いします。
中島委員	パブリックコメントは年齢層とか聞かれるんですか？ 何歳代の方が回答されたとか
事務局・吉田	記載項目にあったと思います。
中島委員	先ほどの若い世代の意見として確認できればね。
事務局・田沼課長	そうですね。

百目木副会長	そのパブリックコメントの日程はどうなっているんですか？
事務局・吉田	2/3から開始で2/28に終了です。
百目木副会長	何人くらいを対象に？
事務局・田沼課長	市の広報でお知らせしています。1月15日号だったかな？（2月1日号）の広報で環境基本計画のパブリックコメントを実施しますと広報でまずお知らせしています。2/3から開始で2/28ということで。また市のホームページで公開しますので、それを見ることが出来るということと、いわゆる東部出張所と市役所のほうには、紙ベースのものを置いているので、ご覧いただけますよということになっています。
百目木副会長	そこに行って、見て、ということですね、分かりました。 あと、3月の審議会の日程は…。
事務局・田沼課長	これから調整するところですから、3月の中旬くらいの日程をいま考えています。改めて皆様のご都合を伺ってですね、お知らせさせていただきます。
百目木会長	その時そうすると、パブリックコメントの結果も知れるわけですね。
事務局・田沼課長	コメントの反映をしたものを作って尚且つこれが最終ですから、最終直しをしたうえで答申いただくという形をお願いしたいと思っております。
豊島会長	議員さんからもご意見を頂戴する仕組みだそうですね。
事務局・田沼課長	2/15にですね、パブリックコメント版については、議員全員協議会のほうに提出して、まあ、議員さん個人でパブリックコメントいくかどうかわからないんですが、それとは別にですね、何かあれば公表するという形にしたいと思います。 まっ、昔は無かった訳です。パブリックコメントは。行政だけで作ってですね、出来たものを出来ましたと出すという形だったんですけど、今はモノにもよるんですけども、皆さんの意見をなるべく取り入れるということになっていまして、法令で定めるものにはパブリックコメントを実施するというようになっております。
豊島会長	他に事務局から何か連絡ありますか？
事務局・田沼課長	無いようですので。ご審議ありがとうございました。うちのほうではですね、P14～15、どうしたらいいかかなり悩んでいたところでしたけれど、今日一定の成果を見ましたのでこちらのほうを手直ししてですね、パブリックコメント版を作りたいとおもいます。それではですね、長い時間ご審議頂きありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度の第4回環境審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

